

## 令和元（平成31）年度桃の里事業報告（介護保険事業）

介護保険サービスやその他のサービスを利用しながら、住み慣れた地域や環境での生活が、楽しく、いきいきと、誰もが安心して暮らすことができるように、利用されるお客様やそのご家族の自己決定を尊重した良質なサービスを提供するとともに、信頼感と存在感のある事業所を目指しながら、通所介護事業を推進した。

### 通所介護（デイサービスセンター桃の里）

デイサービスセンターは、介護を要する認知症や疾病等により身体が虚弱、または身体上、精神上の障害により日常生活を営むのに支障がある高齢者及び障害者に対し、健康状態の確認、食事、入浴、日常動作訓練、レクリエーション等の各種サービスを提供することにより、利用者の生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上を図りながら、心のよりどころとなれるような環境づくりを行い、安心と信頼のきめ細かいサービスの提供に努めた。

また、関係機関及び事業所との連携強化のために空き情報等を定期的に発信し、新規利用者の確保と稼働率アップを重点課題として取り組むとともに、職員の専門性及び資質の向上を心がけて魅力ある施設づくりに努めた。

#### （営業日及び営業時間）

営業日 月曜日～金曜日、第1・第3・第5・土曜日及び祝祭日

※但し、12月29日～1月3日を除く

営業時間 午前9時50分～午後4時のサービス提供時間を実施。

#### （1）職員体制

施設長（常勤）	1名	} 介護福祉士 3.6名（61%） （介護職員 5.9名） ※サービス提供体制加算
生活相談員（常勤・兼務）	1名	
看護職員（常勤・非常勤）	2名	
介護職員（常勤・専従）	3名	
介護職員（非常勤）	4名（常勤換算 1.9）	

#### （2）サービスの内容

主なサービス内容は、事業計画とおり実施し、利用者の身体・生活状況を把握し、安定した在宅生活を送れるように援助・支援した。

- ①送迎：安全運転を徹底し、ゆとりある送迎計画で安全、安心の送迎を心がけた。
- ②食事：厨房と連携を密にし、盛り付け・味付け・おいしく・楽しめる食事の提供に努めた。
- ③入浴（一般浴槽・特殊装置による入浴）：温かみある介護を心がけた。
- ④生活相談：他職種と連携を図りながら、ご利用者様の意向に応えるよう努めた。
- ⑤日常動作訓練：利用者にとって、デイサービスでの活動はすべてが生活リハビリに通じるものと考え、送迎時の安全な乗降、入浴時の衣類の着脱・洗身・洗髪、レクリエーション等を通して、筋力低下の防止プログラムに取り組んだ。  
また、入浴の待ち時間を利用し、法人職員の理学療法士・作業療法士による機能訓練を実施した。
- ⑥健康状態の確認：体温・脈拍・血圧測定を行い、病気への不安解消に努めるとともに、異常や急激な変化に対しては適切に対応した。
- ⑦日中活動：レクリエーション、創作活動、運動、ゲーム、外出、音楽・芸術の鑑賞、行事的活動等を利用者のニーズに沿って積極的に推進した。

## (3) 年間行事実施状況

月	行 事
4月	花見外出：清水学習センター、飯坂支所、慈徳寺
5月	端午の節句：こいのぼり作り、誕生会
6月	カレンダー作り
7月	七夕飾り作り・短冊の飾り付け・写真撮影、誕生会
8月	お菓子づくり：水ようかんパフェ作り
9月	カレンダー作り、誕生会
10月	買い物外出：イオン福島店に買い物ツアー
11月	紅葉狩り外出：茂庭方面、あづま運動公園に外出、誕生会
12月	クリスマス会：クリスマスプレゼント、カクテル作り実演、コスモスマジック、中野小学校交流会、三井流歌春会舞踊、鷹藤流響扇会舞踊、まほろばマジック、バンドふれんず歌謡、カレンダー作り
1月	書き初め、誕生会、押し花講座、
2月	カレンダー作り、鬼の面作り
3月	誕生会、おやつ作り：きんつば作り

## (4) 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人員	478	488	407	470	430	423	473	430	391	379	358	401
利用日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	22
1日平均	21.8	21.2	20.4	20.4	19.5	20.1	20.6	20.5	19.6	19.0	18.0	18.2

※利用実人員：5,128人、利用日数：257日

30年度：5,232人（0.2%減）

※年間1日平均：19.96名（前年比 0.3%減）

## (5) ケアのスキルアップ（更なる質の向上のために）

職員が、資格取得に取り組み専門的知識を得ようと努力してきた結果、サービス提供体制が整備されてきた。しかし、年々ご利用者の心身の状態変化等に伴い、更なる専門的知識やケアの見直しが必要と思われるので、専門的ケアの習得とケアの統一等の学習会、検討会を実施し、更なる質の向上を目指して取り組む必要がある。

## (6) ボランティア・慰問の受け入れ

※団体名敬称略

ボランティア名称	活動内容	活動日・回数
三井流歌春会 歌のボランティア	舞踊慰問 歌謡	毎月 5/24・7/23
コスモス 中野小学校	ギター演奏・歌謡 演劇慰問	12/27 12/12
鷹藤流響扇会 Teety-woo	舞踊慰問 ギターピアノ演奏	9/20・12/19 12/12
レインボー歌謡愛好会	歌唱・舞踊	9/25・12/18
まほろばマジック研究会 バンドふれんず	マジック慰問 歌唱・カラオケ・ギター	12/16 6/18・9/9・12/20・1/24
木村トミ様 JAふくしま未来女性部	押し花講座 傾聴、整容、交流	5回 6回

※ボランティアの受け入れについては、その有効性を見直し、地域との交流を図るとともに、職員だけでは不十分なレクリエーションや創作活動及びアクティビティ活動の充実を図りながら実施した。また、ボランティアとの交流の機会を増やすことが地元への宣伝効果につながるものと考え今後もさらに推進していく。

(7) 研修計画及び講習会

各種研修会等に積極的に参加させ、サービス提供の担い手である職員一人ひとりの専門知識の習得と資質・能力の向上に努めた。また、福祉専門職の配置による体制整備を図るために、介護福祉士、介護支援専門員（主任介護支援専門員及び更新研修・専門研修）、社会福祉士等の各種資格取得の奨励と支援を推進し、下記の研修会等に参加した。

●評価と課題

職員のモチベーションを高めるためにも、研修参加の機会を増やすことが、今後の課題である。

①外部研修（福島県社会福祉協議会等）

研修名	回数	人数	備考
普通救命講習会（法人主催）	1回	1人	講師 飯坂消防署
福島県研修センター主催の研修会	2回	2人	老人福祉施設職員研修 チームリーダー研修
関係団体主催の研修会	5回	5人	介護事業所向け研修
介護支援専門員実務者研修会	0回	0人	介護支援専門員研修
会議、部会、検討会	2回	2人	老人福祉施設大会等

(8) 非常災害対策・事故防止対策について

危険箇所の再確認、ヒヤリ・ハット・事故報告等のマニュアル整備、防火対策及び避難訓練を実施し、危険防止、災害防止に努めた。

- ・避難訓練 2回（年）
- ・法人内緊急電話連絡訓練の実施
- ・消火器使用訓練実施 1回（年）

(9) 要望・苦情等の対応について

安心して福祉サービスを利用いただくために、不満や苦情をお気軽に相談いただくよう掲示物等で周知するとともに、苦情解決事業の充実をサービスの質の向上につなげるよう努めた。

(10) 施設の整備等について

- ①送迎用中古車購入
- ②パソコン一式リース契約

●評価と課題

令和元年度より、常勤看護師 1 名を配置し、週4日は看護師 2 名体制となっている。認知症高齢者、重度介護者に対応できる人材の確保はできている。

利用者の状況については、平成29年度の1日平均利用者数が17.17人だったのに対して、平成30年度は20.43人、令和元年度は、19.96人と増減があり、定員の24人にはまだ届いていない。定員24人確保に向けて、関係機関への情報提供を積極的に行うとともに、利用者、関係機関との信頼関係を壊すことがないようにしていく。地域になくても困る存在であることを職員全体で共有していく。

今後、個別機能訓練加算と口腔機能向上加算の取得、サービス提供時間の延長、お泊りデイの実施を行い利用者確保につなげていきたい。